

平成27年第4回横手市議会6月定例会 一般質問要旨

■ 一般質問の日程

平成27年6月15日（月）～17日（水） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	頁
15日	1	7番	土田百合子 議員	1
	2	12番	奥山豊和 議員	3
	3	14番	菅原正志 議員	5
16日	4	15番	土田祐輝 議員	6
	5	10番	青山豊 議員	8
	6	8番	寿松木孝 議員	9
17日	7	24番	齋藤光司 議員	10
	8	4番	齋藤勇 議員	11
	9	3番	立身万千子 議員	12

1. 【7番 土田 百合子 議員】

1. 地方創生と総合戦略策定に向けた具体的な取り組みについて

- 1) 政府のまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」は、人口減少に歯止めをかけ、地方の活性化を推し進め、活力ある社会の再構築を目指している。人口減少を踏まえ、当市の今後取り組むべき方向性を示すチャンスと捉え、特色あるプラン、地に根をはった持続性のある計画等を策定していただきたい。また、市民へのパブリックコメントは9月の予定であるが、市民の提案も十分に受け入れていただけるような企画にしていきたい。当市の取り組みについて伺う。
- 2) 地域おこし協力隊員の導入の考えについて。
- 3) スマートフォンや携帯電話に緊急速報メールを送信できる「防災ナビ」の考えについて。
- 4) 退職後のシニア世代の地域ガイダンスの開催の考えについて。

2. 認知症対策について

- 1) 医療・介護専門職による認知症初期集中支援チームの配置について。
- 2) 「スクリーニングテスト」導入について。また、パソコンや携帯電話を通して認知症にかかるリスクを確認できる「認知症簡単チェック」導入の考えについて伺う。
- 3) むすびあい手帳について（新潟市の取り組みから）
家族と医療・介護の関係者が本人の情報を共有理解することで、認知症の予防や早期発見につなげていくことができる。
- 4) 居宅療養管理指導について
(医師・歯科医師・薬剤師などによる療養上の管理や指導が受けられる)

3. 県道横手大森大内線交差点（伏山）信号機設置について

4. 交通事故発生状況マップの作成について

2. 【12番 奥山 豊和 議員】

1. 横手市として、自ら考え自ら行う「地方創生」の姿とは

- 1) 今年度策定する「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に向けて。
 - ① 目指す将来の人口展望と、それを踏まえた今後のまちづくりの方向性は、次期総合計画をはじめとする各種計画との連動性をどのように考えているか。
 - ② 「全庁を挙げて取り組む」体制について。
4月1日に推進本部が発足したが、昨年の「人口減少対策プロジェクト会議」のように広く職員全体の声を聴く仕組みを明確にすべきではないか。
また、プロジェクト会議によって提言された内容はどうか活かされているのか。
 - ③ 市民協働の考え方について。
- 2) まち・ひと・しごと創生に向け、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ好循環をいかにして確立させていくか。
 - ① 7月1日より発行される「プレミアム付き商品券」が生み出す効果についてどのように考えているか。これを一過性のものとせず地方創生の先行型事業と連携させ、いかにして域内消費を拡大させつつ地域の魅力を高めながら、まち全体を活性化させていくための呼び水としていくのか。
 - ② 「若い世代の就労、結婚、子育ての希望をかなえる」ために横手市として具体的に取り組むこと、特に力を入れることは何か。
 - ③ 「地方への新しい人の流れをつくり、安定した雇用を生み出す」ための具体的手法は。
- 3) 市町村合併から10周年を迎え、これからの横手市には何が必要か。
市長の考える横手市の在るべき姿とは。
 - ① 「時代に合った地域」とは、どのような姿を想定しているのか。
 - ② 広域連携についての考え方は。
- 4) 確かな成果を残すこと、「結果重視」が求められているが、市として進めてきた政策決定の在り方を含め、これまでの取り組みや手法について伸ばしていく点、改めるべき点についてどのように考えているか。

3. 【14番 菅原 正志 議員】

1. 大雄振興公社への対応について

- 1) 借り換えから公社の業績を考えた場合、解散という決断をする時期が遅れたのではないか。

- 2) 資金ショートを防ぐことは出来たが、多大な公金を投入したことに対する結果責任はないのか。

2. 広域連合第三者委員会の答申について

- 1) 市長の所感と今後の職員のメンタルヘルスをどうするのか問う。

3. 公共施設整備計画について

- 1) 「多機能型体育館の建設を検討している。」とのことだったが、公共施設整備計画とどのようにバランスを取りながら進めるのか。

4. 【15番 土田 祐輝 議員】

1. 多機能型体育館構想について

- 1) 防災や災害時の後方支援施設として位置付けるのであれば、当然国、県の理解と支援が必要である。高いハードルがある中で、これまでの感触と実現可能なものなのか伺う。
- 2) 財源として合併特例債が考えられる。時間的制約がある中で、今後のスケジュールはどのように考えているのか。
- 3) 建設地の適地としては、どこを想定されているのか。
- 4) 既存体育施設との棲み分けをどう図っていくのか。

2. 監査報告の指摘について

- 1) 監査報告の中で人事管理として代休が取得されていないとの指摘が続いている。このことについての説明と対策について問う。

3. 学校統合計画について

- 1) 第2次学校統合計画の中で、山内中学校を横手南中学校に編入する案が示された。しかし、近場には県立の横手清陵学院中学校が定員割れで苦勞している。県との機能合体の先進地なら教育現場においても同様の取り組みを期待したい。私は再検討に値すると思うが当局の考えを伺う。

4. 横手駅西口開発について

- 1) 横手駅西口が完成しても周辺は開発される様子もなく一面更地のままである。その中には市有地も多く含まれている。利便性が高い西口周辺の振興策が気になるところだが、市は将来的に西口周辺をどう考えているのか。具体策を含めその方向性と点在する市有地の利活用について伺う。

5. 【10番 青山 豊 議員】

1. 地域に根差したおまつり・伝統行事の維持と継承について

1) 歴史まちづくり事業について。

① 「ぼんでん」と「鹿島様行事」を日本遺産に認定するための取り組みはできないか。

② 市指定無形民俗文化財の積極的取り組みについて伺う。

2) おまつり・伝統行事を行う、もしくはそれに参加する集落、町内会・自治会に対する支援について伺う。

3) 「わら文化」に代表されるおまつり・伝統行事に必要な「技」の継承について伺う。

2. 後方支援拠点を兼ねたアリーナ建設についての市長の決意と覚悟を伺う。

1) 市長は所信説明の冒頭で「今後のまちづくりの核となる事業の一つとして、防災機能を備えた大型の多機能型体育館の建設を考えている」と正式に表明された。現時点での計画（時期・規模・事業費・財源）について伺う。

6. 【8番 寿松木 孝 議員】

1. 新たな施策の取り組みについて

- 1) これまでの財政計画では、今年度完成予定のクリーンプラザの建設で大型公共事業は終了となる計画だったが、新たに十文字地区の小学校統合に伴う校舎建設や大型多機能型体育館の建設など新たな事業を模索しているようだ。
今後縮小していくと思われる市財政との整合性を伺う。

2. 各種計画の策定について

- 1) 総合戦略策定に向けた高橋市長の基本的な考え方は。
- 2) 横手市財産経営推進計画策定にあたって、どこを基準に施設の設置が見直されるのかについて伺う。

3. 農業振興策について

- 1) 高橋市長は農業振興の中心施策としてブランド化の推進を唱えているが、市長の考えるブランドとはどのようなものか。
- 2) 本年度ブランド化のための市の基本方針を定めるとあるが、その内容は。

7. 【24番 齋藤 光司 議員】

1. 国民健康保険について

- 1) 平成30年度から県が運営主体になることが決定されているが、あまりに情報が少ない。今現在の調整状況と進捗状況、また、運営主体から外れる市にとって、また、加入者にとって保険料等々どのような変化が見込まれるのか伺う。
- 2) 市が運営主体から外れても現在国保に市が行っている法定外繰り入れ、福祉医療等の独自の支援策が継続できるものか伺う。
- 3) 財政運営に当たっては、都道府県が見込みを立て市町村ごとに分賦金を決定することとし、市町村ごとの分賦金の額は市町村ごとの医療費水準及び所得水準を反映させるとのことだが、市として種々の努力が見える形でそのことに反映できる制度になりうるのか伺う。

2. 地方創生について

- 1) 日本創生会議が提言された高齢者の地方移住について、市長は市の将来構想も踏まえてどのように考えているのか伺う。
- 2) 日本版CCRCについて、市としてどのような考えなのか伺う。

3. 米施策について

- 1) 2018年からの減反廃止に対して、市はどのように対応をしていくのか。
特に転作廃止になった場合の条件不利地、中でも河川敷地内農地の対策をどのように考えているのか伺う。
- 2) 環境省の「特定特殊自動車排ガス規制」の適用により9月から小・中型トラクターやコンバイン等の新車販売価格が2割値上がりする。また、2025年まで米の関税が撤廃され、米60kg(1俵)、6,000円になるという試算もある。米作りに見切りをつける若年農業後継者が多い中で、米農家の後継者をどのように育成していくのか考えを伺う。

8. 【4番 斎藤 勇 議員】

1. 十文字地域小学校の統合について

- 1) 4校統合は生徒数減少が主な統合の動機になるのか。
- 2) 地域コミュニティと「心の教育」のゆくえは。
- 3) よい教育環境と学力向上をめざすためにとある中で、統合による「負の要素」がな
いか。

2. 「農協解体法案」とTPPについて

- 1) 審議中の国会での「農協解体法案」をどう見てどう思うか。また、当市への影響の
ほどは。
- 2) TPP交渉は「山場、正念場」と言われる中、各地で反TPPが起きている。これ
らをどう見ているか。また、どう対処しようとしているのかを問う。

9. 【3番 立身 万千子 議員】

1. 「地方創生」について

- 1) 国が意図する「地方創生」を市長はどうとらえているか。
- 2) 市の「総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定作業をどう進めているか。
- 3) 国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用した2つの地方創生事業について。
 - ① 地域消費喚起・生活支援型は実施主体（実行委員会）での検証をどう行いながら進めていくのか。
 - ② 「地方創生先行型」の取り組みにおいて、昨年度の庁内人口減少対策プロジェクト会議の提言をどれくらい反映させたか。
- 4) 市財産経営推進計画（FM計画）について
 - ① アリーナ（大型の多機能型体育館）建設との整合性をどうとるのか。
 - ② 温泉施設のコンセプトを健康増進・医療費抑制に変え、健康寿命を伸ばす施策を取るべきと考えるがどうか。

2. 組織機構について

- 1) 今年度「男女共同参画室」が“消滅”した経緯や、結果の把握など「組織再編が持つ目的や意図」を全庁部局が理解しているか。

平成27年6月定例会日程予定【会期17日間】

- **本会議** 午前10時開会予定です・傍聴できます ——
- ◇6月8日(月) 〔開会〕市長所信説明、議案審査 ほか
 - ◆6月15日(月) 一般質問
 - ◆6月16日(火) 一般質問
 - ◆6月17日(水) 一般質問 ほか
 - ◇6月24日(水) 委員長報告 ほか 〔閉会〕

— 傍聴席は本庁舎7階です —

委員会

- ◇6月8日(月) 一般会計予算特別委員会
- ◇6月18日(木)～19日(金) 常任委員会
- ◇6月24日(水) 一般会計予算特別委員会

横手市

検索

横手市のホームページにあります、

議会のコーナーをクリックしてください。

本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

